

## 修士論文の作成・口頭又は筆頭試問

修士  
(経済学)

### DP2 【研究遂行能力】

研究科が定める期間在学中、所定の単位を修得した上で修士論文を提出し、論文審査に合格すること。論文審査は、別途定められた学位論文審査基準にしたがい、研究テーマ、論理構成、分析手法、結果に関するルーブリック評価の下に行われる。

### DP3 【学術的貢献・社会的貢献】

修士論文の内容を中心とする口頭又は筆答試問に合格すること。当該分野における学術的貢献とともに、社会的貢献に寄与できる能力を有すること。

### DP1 【知識・思考力・問題解決能力】

DP1(1)

経済事象に幅広い興味関心を持ち、経済理論や実証分析から得られる科学的知見を基に、説得力のある議論ができるようになること。また、経済・社会の諸問題に対して、それらを解決するための方策を提案できること。

DP1(2)

理論・計量分析分野においては、経済心理学を含む経済学の理論、統計データなどを駆使する計量経済学を学ぶこと、価格のメカニズムや経済成長、失業発生メカニズムなど、さまざまな経済現象の本質を理解できる能力を有すること。

DP1(3)

公共政策・産業分野においては、環境問題、過密による都市問題、大企業と中小企業の労働生産性の格差の問題、地方分権の推進とその財源問題など、経済・社会が抱えるさまざまな問題の解明とその対策を現代経済学の成果に依拠して学ぶことで、政策立案能力を発揮できること。

DP1(4)

国際経済・歴史分野においては、世界の国々の経済・社会の発展と経済思想を学ぶことから、現代の経済・社会が抱える諸問題を考察し、将来のあり方を考える能力を有すること。

DP1(5)

母国語および英語によって情報の収集・分析・発信ができる能力を有すること。

M2

M1

演習

理論経済学特論  
経済学史特論  
○ミクロ経済学特論  
○マクロ経済学特論  
金融論特論  
統計学特論  
○経済統計学特論  
○計量経済学特論  
応用計量経済学特論  
行動経済学特論  
経営情報システム論特論  
経営学論特論  
経済地理学特論  
ゲーム理論特論  
実験経済学特論  
経済心理学特論  
空間経済学特論  
(○は共通科目)

○公共経済学特論  
○経済政策論特論  
財政学特論  
地方財政学特論  
租税法特論 I  
租税法特論 II  
地域経済学特論  
環境経済学特論  
社会調査特論  
産業組織論特論  
交通経済論特論  
社会保障論特論  
金融市場論特論  
都市政策論特論  
行政法特論  
(○は共通科目)

○国際経済学特論  
開発経済学特論  
国際金融論特論  
アメリカ経済論特論  
ヨーロッパ経済論特論  
アジア経済史特論  
中国経済論特論  
○日本経済史特論  
西洋経済史特論  
(○は共通科目)

外国文献研究 英書文献研究  
外国文献研究 独書文献研究  
外国文献研究 仏書文献研究

特殊講義 I・II・III